

製品名: ジメチルヒストン H3 (Lys9) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86318**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:200-1:500, FC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:15 kDa; Observed MW:17 kDa

抗原情報

遺伝子名	DiMethyl-Histone H3
別名	H3/j; H3C1; H3C2; H3C3; H3C4; H3C6; H3C7; H3C8; H3FJ; H3C10; H3C11; HIST1H3J
遺伝子 ID	8356
SwissProt ID	P68431
免疫原	ヒトヒストン H3 の Lys9 周囲の残基に対応する合成メチルペプチド

背景

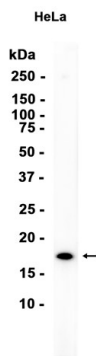
ヒストンは、真核生物の染色体繊維のヌクレオソーム構造を担う基本的な核タンパク質です。4つのコアヒストン

(H2A、H2B、H3、H4) はそれぞれ 2 分子ずつで八量体を形成し、その周囲に約 146bp の DNA がヌクレオソームと呼ばれる繰り返し単位に巻き付いています。リンカーヒストンである H1 は、ヌクレオソーム間のリンカー DNA と相互作用し、クロマチンを高次構造に凝縮する役割を果たします。この遺伝子はイントロンを持たず、ヒストン H3 ファミリーに属する複製依存性ヒストンをコードしています。この遺伝子からの転写産物はポリ A 末端を持たず、代わりに回文終結配列を含みます。この遺伝子は、染色体 6p22-p21.3 の小さなヒストン遺伝子クラスターに存在します。[RefSeq 提供、2015 年 8 月]

研究分野

-

画像データ



ジメチルヒストン H3 (Lys9) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。